

私たちの活動や意見を仲間で共有します。会費は県と日本平和委員会の活動も支えます。

土浦平和の会ニュース

2020年9月15日 第343号

発行：土浦平和の会

事務局：土浦市烏山2-530-296

HP：//heiwatutira.web.fc2.com/

安倍政治まるごと引き継ぐ菅新政権

市民と野党の共同で暮らしと平和を守ろう

コロナ禍でもたゆまぬ活動、きたるべき総選挙で政権交代を

9月14日、安倍政権を引き継ぐ自民党総裁は菅氏(現官房長官)と決した。

3候補いずれも安倍政権の悪政を支えてきた中心的存在であったとは言え、石破、岸田両氏が安倍政権との違いを多少なりともアピールしたのに対し、菅氏は「安倍政権の継承」を最大限に掲げての登壇で、内政、外交、政治モラル、コロナ対策、などなどすでに行き詰まった道を引き継ぐというのだから、国民に希望の明かりが見えないどころか、政権の存在価値そのものが危うい。政治姿勢の中心に国民の「自助」「自己責任」を掲げる菅氏は、政治の本来の責任を後方に追いやっている。

今後、解散風が俄然強まる中、希望は市民と野党の共同による政治の転換にこそあるだろう。

■ ■ ■ ことば ■ ■ ■ (「平和新聞」2240号より)

柳澤協二さん (元防衛官僚・内閣官房副長官補)

政府は、敵のミサイル発射前に攻撃を加えて無力化する「敵基地攻撃能力」を提言していますが？

何をもって「日本への攻撃に着手」と判断するのか。日本にはその能力はありません。結局「引き金」はアメリカが握っている。私たちがミサイルの脅威から安全であるためには戦争を起こさないということ以外にありません。日本の役割は、緊張緩和の外交努力です。

全米OP優勝の 大阪なおみ さん 実力・勇気・信念の発言・行動に拍手

「私はアスリートである前に黒人女性です」
芸能人やスポーツ選手が政治的発言をすることに理不尽な圧力がかけられる中、大阪なおみさんのこの発言と7人の犠牲者名のマスク着用という勇気ある行動に心を動かされる。

大阪なおみ選手、全米OP優勝 7枚のマスクのメッセージ



ハフポスト日本版 / 会話を生み出す国際メディア @HuffPostJapan

昨日

大阪なおみ選手、全米OP優勝 7枚のマスクのメッセージ

【ハフポスト】

ハフポストは2005年にアメリカで創設された世界最大級のネットニュースメディアで、2012年にはピューリッツァー賞を受賞。2016年にはFacebookで1位のパブリッシャーとしてランクされました。

戦争への道ゆるさない！

土浦憲法共同センター

毎月連続アピール行動中です
土浦九条の会の連続行動に学んで

「コロナ禍のもとでも行動を絶やさない」

土浦憲法共同センターは今年9月で65回を数える土浦九条の会の街頭スタンディングアピール行動に学び、5月からケースデンキ前(真鍋)でアピール行動中です。



憲法共同センターのみなさん

東海第二原発廃炉への活動は絶やさない

いばらき原発県民投票の会が活動の継続を確認

いばらき原発県民投票の会世話人会は、今後の活動の方針などを次のように確認しました。
 (「平和かわら版」(県平和委員会発行)より)

《基本方針》

- ①「いばらき原発県民投票の会」の名称は変えないで継続する。活動の継承性を残します。
- ②東海第二原発再稼働に関して、県民の意思表示する機会(仕組み)を実現することをめざし、関連する諸活動を進めます。「諸活動」については今後検討します。

《具体的な活動》

- ①「県民投票」運動の経過とそれに関わる考え方などをまとめた資料を作成します。
 - ・編集部会を設置して、800部～1000部ほど作成予定。
 - ・資料は関係団体や関心のある個人に配布(有償?)する。ネット上に公開します。
- ②知事や県会議員などに、6月県議会に関連する諸対応について更なる問いかけをします。
 - ・暫定三役で質問状を作成して発信します。
- ③東海第二原発再稼働にあたって、県民がその賛否を表明できる運動を進めます。

「センス・オブ・ワンダー」

レイチェル・カーソン



エッセイスト、翻訳家として名高い上遠 恵子(かみとおけいこ)氏訳の「センス・オブ・ワンダー」(レイチェル・カーソン著)を紹介したい。20才代の頃読んだレイチェル(1964年没)の「沈黙の春」で受けた衝撃とは同根ながら異なる衝撃を受けた。

新潮社版の堅表紙わずか60ページ足らずに書かれた著書の帯に次のように紹介されている。

「美しいもの、未知なもの、神秘的なものに目を見はる感性(センス・オブ・ワンダー)」を育むために、子どもと一緒に自然を探検し、発見の喜びに胸をときめかせる……」

押しつけがましさを感じつつ、つつい。ご容赦ください。

大滝 誠(土浦平和の会理事)

条例制定賛成の県議の声(要旨)

茨城県議会議員全59名中、条例制定に賛成したのは5人です。会が実施したアンケートに答えた4人の声の一部を紹介します。

日本共産党：山中たい子県議(賛成)

知事と議会を動かすことができず、残念です。悔しさをかみしめています。私自身も昨年来、多くの方と話し合い、ご意見を伺いました。話し合いを重ねれば重ねるほど、また話を聞けば聞くほど、原発の再稼働についてどなたも強い不安を持っていることを改めて感じることができました。福島原発事故を経験したからこそ、再びあの事故を繰り返すことのないようにと、多くの方は東海第2原発の再稼働問題を自分ごととしてとらえ、自分と子ども、孫世代の将来を見据えた話し合いや議論を重ね、行動に立ち上がったのだと考えています。

日本共産党：江尻加那県議(賛成)

①県民投票を否定することは、今後も県民の声を聴かずに国の政策を優先させることに他ならない。結局は、「民意を恐れた知事と議会」の実態が明らかになったと考えます。

②保守的と言われる茨城、原子力発祥の地と言われる茨城で、再稼働の是非を問う県民投票の直接請求が出されたことは画期的です。それだけの重みがあると考えます。県民投票の会の取り組みが中高生にまで広がり、まさに「民主主義の学校」として未来の世代につながる貴重な活動です。

立憲民主党：玉造順一県議(賛成)

・東海第二原発の再稼働については、県民の命と生活に直結する問題であり、住民投票により県民の意思を問うことは再稼働そのものについての是非を超え、広く県民の共感の中で受容される。

無所属：中村はやと県議(賛成)

反対する理由がない。主権者たる県民が正統な手続きで集めた署名を無視するなんて事はない。又、県議会で東海第二についての議論が不十分であると元々感じていた。

【平和の会へのおさそいを。「平和新聞」購読も広げましょう】

- 幅広い年代からの加入を勧めましょう。ご家族・ご近所・友人・知人などにお声かけを
- 会費：月額500円、「平和新聞」(毎月5、15、25日発行)：月額520円(送料含)

